

昨年12月に第45代横須賀地方総監を拝命しました道満です。横須賀水交會の皆様には、隊員の緊急登庁への御支援をはじめ、各種行事への御支援など常日頃から様々な御高配を賜り厚く御礼申し上げます。前職の潜水艦隊司令官に引き続き、自宅のあるここ横須賀で指揮官として勤務できることを望外の幸せと感じております。鎮守府から数えますと133年、総監部として



【横須賀地方総監挨拶】
海将 道満 誠一



は65年の長い歴史を有する横須賀における本職の重責に身を引き締め、微力ながら精進していく決意を日々新たにしております。

私は着任以来、災害等の不測の事態に的確に対応するとともに、日々国益に直結した様々な任務に当たる自衛艦隊への後方支援を全うすべく、「精強・即応」を第一の指導方針としております。そして、隊員一人ひとりが海軍からの伝統である「分を守り、分を尽くす」こと、すなわち、「与えられた目前の業務に全力を尽くすことを通じて技能を高め、人間的にも成長することを目指して、「二燈照隅」を第二の指導方針として掲げ、日々の勤務に当たっております。

横須賀地方隊としての当面の課題は、先日、講話の機会を頂

発行 平成29年11月15日
編集 横須賀水交會事務局

いて、会員の皆様にお話ししたとおりですが、簡単に繰り返しますと、①護衛艦・潜水艦の増勢を見越した隊員の育成、②東京オリンピック等に備えたテロなどへの対策、③大規模災害対処能力の維持、向上、④米海軍等との共同の深化、⑤隊員募集の強化、⑥海上作戦センター及び長浦新棧橋等の大規模施設整備の推進、⑦仕事と育児、介護等との両立を図る働き方改革の推進などです。限られた人員をもつて、これら重大な諸課題への対応は、まさに「任重く、道険し」の観はありますが、一歩ずつでも日々前進するよう努力しているところです。

中でも最も苦労しておりますのは、隊員の募集です。少子化で適齢人口が減少する中、大学進学率は継続して上昇し、近年の景気回復により求人倍率も上昇しており、ここ数年の入隊数は、計画数を下回る状況が続い

ています。そのため、広報行事は募集を重点に実施し、隊員の自主募集（縁故募集から改称）を強化し、働き方改革を通じて
(次頁に続く)

横須賀水交會主要行事予定

平成30年3月までの主要行事予定は、次のとおりです。なお、最新の情報は横須賀水交會ホームページ (<http://y-saikokukai.daa.jp/>) へ御確認下さい。

1 幹事会

(1) 期日 12月13日(水)

場所 調整中

時間 15:00～17:00

(2) 懇親会

場所 ホテルハーバー

時間 17:15～19:30

会費 5千円

2 賀詞交歓会

(1) 期日 1月13日(土)

(2) 場所 横須賀商工会議所

(3) 会費 4千円(女性2千円)

3 靖国神社月例参拝

(1) 期日 2月15日(木)

(2) 場所 靖国神社等

勤務環境を改善するとともに、女性の入隊数を増加する等の施策を講じておりますので、やる気のある若者へのお声かけ等一層の御協力をお願い申し上げます。特に、横須賀市及び近隣の地域からの入隊者の増加は、隊員の将来の生活設計の上でも望ましいことと考えております。

横須賀地区の現状に目を転じますと、この夏に横須賀市は新体制となり、米海軍も第7艦隊司令部、在日米海軍司令部ともに新体制となりました。新たに就任された方々は、いずれも海上自衛隊への深い理解をお持ちであり、既に非常に緊密な関係を構築できており、水交会の皆様とともに、この横須賀地区の一体化した素晴らしい関係を今後とも更に良好に発展させるべく努めて参る所存です。

結びに、横須賀水交会の益々の御隆盛、御発展と会員の皆様との御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます、御挨拶とさせていただきます。



護衛艦「いずも」と砕氷艦「しらせ」

【投稿】

「ロンドンの朝食」

佐野 恭子



9月、半月ロンドンの私的なクラブに滞在しました。部屋にカギがない。建物の入り口でタフな男たちがメンバーしか入れない。ただ、在室時は門が有り、小金庫が有る。朝ごはんは紅茶かコーヒー、トーストはライ麦

白パン、クロワッサンでお皿が来る間、私は小どんぶり一杯の濃い、アイスクリームのようなヨーグルトとガラス器に山盛りのフルーツサラダを食べて待ちます。サラダは小口に切った桃もリンゴも皮つきでメロンやベリーなど多種類の果物です。オレンジジュースに粒つぶのあるのはスペインからでしょう。湯気の立つ大皿が来て、マッシュルームと焼いたトマト3個、羊の腸を使ったソーセージ、塩辛いベーコンに替えて腿をそのまま骨付きで作ったハム、スモークサーモン、3個のポーチドエッグ、これは布に入れて茶巾絞りでお湯に落としたりしく黄身は未だ生。



夜はお台所に泡立つほど沸騰したお湯が出るのでロイヤルドルトンのティーセットで紅茶と牛乳とカップラーメンです。イギリスの牛乳は濃くてずっしりして「牛乳代納める」というと「いくらでも飲んで。すぐ補充

するよ」2Lの牛乳が必ず4本冷えていました。

日曜日は、クラブに朝食がないので「佐野さん、あの国旗がかかっているところがアーミーネイビークラブだ(陸軍海軍クラブ)明日の朝ごはん食べる？」人を付けてくれ、がつしりした仕着せの青年が番号を打ち込んで笑顔で迎え入れてくれました。立派なエントランスで戦闘場面の絵、全身を砂色の制服で威儀を正した陸軍の肖像画、そして「募集」の立派なパンフがありました。早速1Fの禁煙の smoker キングルームと肖像画の続き部屋を見ました。かつてシガーとウイスキーを楽しんだ厚い革張りのソファと、ゾウに乗って砂漠を駆ける軍人の絵が有ります。お隣は「爆撃を受けて建て直したので天井が低くて、額縁がないのよ」と嘆きながら、それは立派な12枚の肖像画、そして特別のウエリントン公爵のものがありました。一番端にネルソン提督が若々しいお顔で、とても幸せそうに立っていました。

2Fに行く、食堂入り口にエリザベス女王の肖像画、明るくゆったり100組ほどの席を持つパーテイルームです。夫妻で旅をする時に陸海軍の関係者がここを利用するのでしょう、穏やかな上品でインテリの世界がありました。私は軍が当然のように自然体で存在すること、静かな誇りと尊敬をもって遇されることが嬉しかった。ネルソン提督の顔を見てウエストミンスターからボートでグリニッジに行きました。片道45分の船旅。海運の国だけに観光にも通勤にも使われています。海事博物館では8年前よりもネルソン提督の展示が遥かに大きくなり、海戦で使われた様々な形の砲弾、相手の船に乗り移って至近距離の戦い、怪我をした場合の皮膚、筋肉、骨の切断に使った道具、水兵は経済的に決して恵まれなかった事、海戦のように砲弾と炸裂音がずっとその部屋に響いています。子供たちに戦争の輝かしい面と、そうではない半面を伝えようとしています。ネル

ソン提督のナイルでの勝利、銀の輸入に大きく益したメキシコでの勝利で、英国だけではなく世界中でネルソン提督への称賛が高まり、富裕層は競ってナイル風(ア・ラ・ナイル)服装をしたこと、ネルソンに与えられた様々なトロフィーと称号、そして彼の2歳になる愛娘に犬を飼うことを許した手紙と金のネックレスなど、英国でネルソン提督がどれほどの意味を持つかトラファルガー広場と共に感じます。



さて、ロンドンの夕食は1つの店でしか食べませんでした。優れた注文係の為です。繁華街のピカデリーより南、王立裁判所の隣で静かです。爆撃を受けなかった壮大な建物は仕着せのドアマン、背広をびしっと着た男たちが待ち構えるカウンター、内装が重厚で黒檀と厚い壁紙に直径1mの古い時計、まーるく

店一杯に広がる長椅子、満席なら200名余が入るでしょう。シャンデリアは華やかでシェイクスピアの生意気な小間使いが出てきそうです。「アルコールは飲まない、スターターも食べない、デザートもいらぬ」というと「では、ビーフストロガノフで」その店だけは水がただでした。足つきの大きいコップです。ビーフストロガノフのこめは極細で香り高く、堅くてカシカシしています。大きく深いスプーンでソースに入ったビーフを不用意にパクつとやったところ、口いっぱいになりました。2個目からは切りました。付け合わせにDNAの螺旋のように切った、たっぷりのピクルスがパンチを添え、テールクロスとナプキンは生成りの粗い麻でした。紅茶を頼みました。「不安定なダーズリンで試したい」持ってきたティーポットは800cc程入る凄く熱い金属製で、お茶碗は、ゆったりと大きいのがいい。お隣の子供連れも楽しそうでしたが、子どものものを頼

んで帰ったようです。なにを：と聞くと牛乳を頼まれた、いくら、と聞くとマテオという青年は胸を張って「イタリアは何処に行ったことがある？」担当のピオトルに「ロンドンでお茶をかうにはどこがいいか」と聞くと両手から紙と鉛筆を片時もはなさない薄色の短い髪をした男は「2分待つてくれたらこの店のバイヤーに聞いてくる」ニューボンドに有ったその紅茶屋は初めて飲む素敵なお茶が、50g包みの紙袋に入っていた。「明日はバービカンでサイモン・ラトルのリハーサルを聞いてね、5時半になるよバス4番で一本だね」ピオトルは顔を見るなり「コンサートは、如何でしたか。日本人ですから魚にしました。タラです」3センチ半の厚さの真っ白な、汁の垂れるこつてりしたタラの切り身がパリパリの皮を付けて熱い皿に乗って来た。私はその時ほうれん草に、たっぷりの溶けたバターを掛けて自然に絞ったものを注文し一皿にして食べた。次に行った時「ま

た魚にしました。シーバスです、2切れあり、佐野様は前に野菜の付け合わせをなさったので今回は緑の野菜もたくさんついています」シーバスはかりつとした皮を持つ幾らかさっぱりした魚で、補うように軽く炒めた鮮やかな緑の野菜が下敷きになって歌っていた。

夢中で過ぎた半月でしたが了解を待って、両方のクラブへお礼に2ダースの三笠カレンダーをSAL便で出します。クリスマスバザーに出品して、多くの人に見てほしい。米軍では教科書として読まれた、カレンダー最後の「聯合艦隊解散の辞」で東郷元帥は「英国海軍は、ナイル、トラファルガー等に勝利した後も世運の進歩に後れることなく武力を保有し国権を伸長した」と述べておいでです。そして結語「古人曰く勝って兜の緒を締めよ」とされたのでしよう。英国に7年留学した東郷元帥が英国海軍、国際法、そしてネルソン提督の海戦を一心に学ばれた日々を思いました。

「バンクーバー記」 鳥居 真紀

この度、水交會旗をお借りして有志3人で遠洋練習航海海部隊バンクーバー寄港のお出迎えとお見送りに行つて参りました。

9月16日土曜日8時半過ぎ、澄んだ青空のもとノース・バンクーバー市バラード・ドライブック・ピアの岸壁で待ち受ける30人程の現地在住邦人と共に「横須賀水交會」の旗を掲げ「かしま」が威風堂々と航行してくる姿を確認しました。皆が歓喜の声をあげていたところ当局より岸壁からの退去を命じられました。というのも、こちらの岸壁、観光船の船着き場ほどの幅と長さしかありません。幅はヴェルニー公園の遊歩道位です。どうやら入港作業の安全確保のため故の指導でした。道路まで後ずさりフェンス越しのお出迎えとなりました。

水交會旗は、来場者の目につきやすいようで沢山の方から様々な質問を受けました。簡単ながら会の趣旨などをご説明し

たのでほんの少し広報のお役に立てたのではないかと思います。また、現地在住の海兵74期の多々良薫氏にお会い致しました。横須賀水交會には毎日スカイプでお話しする仲の良い同期の方がいらつしやるそうです。

嬉しいことに「かしま」では「水交會旗の出迎えあり」と艦内放送がかかったと聞いております。



入港作業は、横須賀や晴海に比べて相当時間を要したように感じられました。カナダ海軍のホストシップ、フリゲート艦「オタワ」の向かいにイリフネ、メザシで「かしま」「はるさめ」

と並びました。

5月に横須賀でお見送りをしてから4か月ぶりに日本国練習艦隊「かしま」「はるさめ」(司令官 眞鍋浩司海将補、初級幹部約190名を含む乗組員約580名)との再会です。

入港歓迎式典は、カナダ海軍高官、オタワ艦長、ノース・バンクーバー市長、在バンクーバー領事等参列のもと執り行われカナダ海軍と日本の友好関係やノース・バンクーバー市が千葉県と交換留学生制度を長きに渡つて続けているエピソードなどが披露されました。軍港エスカイモルトへの入港ではなかった為かカナダ海軍軍楽隊の演奏がなかったのは、少々残念でした。



夕刻、幸運にも艦上レセプションへの出席が叶いました。クロークにて制服姿の大和撫子から振る舞われたお抹茶は、格別でした。横須賀の壮行会で出会った実習幹部と話す機会もありました。「本当に来たんですね。保険屋さんでしたっけ?」と問われ、???・?・?・目を輝かせながら「英語も上達してきてかしまの由来や役割も上手く説明出来る様になりました」と報告してくれる青年もいて立派に成長していることを頼もしく感じました。



9月20日9時、艦上から音楽隊の「蛍の光」に次いで「行進曲軍艦」が流れる中、「かしま」は、ゆつくりと離岸して行きました。晴れ渡った秋空ながら気温は低く肌寒い朝、真つ白な制服姿の登舷礼は、ため息が出るほど美しい光景でした。

「かしま」に先立って先導の「オタワ」は、作業時と同じジャンパー姿で登舷礼もなくあっさりと出港。

この日も30数名の近郊在住の日本人の方々とのお見送りでした。初めて艦上レセプションに招かれ、実習幹部の礼儀正しく、行き届いたエスコートに感激して海上自衛隊の大ファンになったというご婦人もいらして練習艦隊がいかにも意義あるものか再確認しました。

「かしま」の雄姿が遠ざかりながら鳴らす汽笛の音色に、名残惜しく皆が手や旗を振り続けていたところ、岸壁に影も形もなかった「はるさめ」が悠然と現れ、思わぬ登場の仕方に大きな歓声があがりました。遠目に

も一糸乱れぬ登舷礼は際立ち、前述の海兵74期の多々良氏もいつまでも直立不動の凛々しい敬礼姿でお見送りされておりました。

皆さんに「いつもありがとうございます。応援しています。」という気持ちで伝えたくてバンクーバーに行つて参りましたが、司令部、実習幹部、乗員の皆さんの真摯に職務に向き合う姿を間近で見ればももつともつと頑張らなければと想いを新たに帰ってきました。「21世紀の海軍おばさん」目指して精進します。(笑)

水交会の諸先輩方今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。



「横須賀市政報告」
市議会議長・幹事 木下憲司

①市長選挙



6月25日、横須賀市長選挙及び市議会議員補欠選挙が行われました。開票結果は、上地克明氏81,004票、吉田雄人氏69,035票、林のぶあき氏6,640票で、上地克明氏が初当選を果たし、7月10日に第37代市長に就任しました。上地氏は、「横須賀復活計画」として、「海洋都市」、「谷戸再生」、「音楽、スポーツ・エンターテインメント都市」の、三つのブランドデザインを構想し、前市長時代の閉塞感を打破する、夢のある、躍動感がある横須賀を目指しています。選挙戦は終わりましたが、上地市政は始まったばかりです。上地氏が度々主張する「横須賀はこんなもんじゃない」の気持ちだが、具体的にどの

ように実現するのか、見守りた
いと思います。

② 通年議会制の開始

横須賀市議会は、5月から、
通年議会制へ移行しました。従
来の議会は、年間4回の定例会
で構成され、それぞれの会期毎
に、市長の招集で開会し、議事
終了により閉会、を繰り返して
きました。一方、このたび導入
する通年議会制とは、定例会の
会期を1年間として、閉会期間
をなくすものです。具体的には、
毎年5月に市長が議会を招集し、
会期は原則翌年4月末までの年
1回とし、議案審議は3月、6
月、9月、12月の定例議会で集
中的に行うものです。1年間で集
通じて会期中となるため、災害
時に議長の判断で緊急に本会議
を開くことが可能になるなど、
迅速な対応を図ることができま
す。また、通年議会制は、議長
の判断で会議を随時開会できる
ため、市政に対する監視機能の
強化、積極的な政策立案・政策
提言など、議会運用性の向上が
期待できます。

【参加行事等紹介】

1 平成29年度練習艦隊

入港歓迎行事、壮行会、 歓迎夕食会

5月13日(土)、練習艦隊(司
令官 眞鍋浩司海将補)が、近
海練習航海で最後の総監部寄港
地となる横須賀に入港しました。
本年度の練習艦隊は練習艦

「かしま」、練習艦「やまゆき」
及び護衛艦「はるさめ」の3隻
で3月18日(土)に編成され、
近海練習航海を実施しました。
今回横須賀に入港したのは、
遠洋練習航海に従事する「かし
ま」(艦長 堀川雄司1等海佐)、
「はるさめ」(艦長 樋ノ口和隆
2等海佐)の2隻で、第67期一
般幹部候補生課程修了者約19
0名を乗せて逸見岸壁に接岸し
ました。

雨天のため、厚生センター体
育館で入港歓迎行事が行われ、
道満誠一横須賀地方総監をはじめ
各級指揮官等多くの隊員、吉
田雄人横須賀市長をはじめとし
た多くの来賓、各支援団体が、

入場する練習艦隊司令官をはじめ
乗員及び実習幹部を出迎えま
した。

横須賀水交會からも中尾会長
をはじめ多数の会員が自衛艦旗
小旗・水交會旗を掲げ、横須賀
入港を歓迎するとともに乗員の
激励を行いました。



吉田市長から「横須賀市民を
代表し、心から歓迎します。滞
在中は、十分に英気を養って下
さい。」との歓迎挨拶で始まり、
来賓紹介、祝電披露、花束贈呈
と進み、最後に眞鍋司令官から

参列者に対する感謝の言葉とと
もに「横須賀出身の私にとって
この地から遠洋練習航海に出発
できることは、真に感慨深いも
のです。是非、実習幹部の成長
に御支援と御協力を賜りますよ
うお願いいたします。」と挨拶が
あり、短い時間ではありまし
たが心のこもった歓迎行事が終
りました。

同日夕刻、「よこすか平安閣」
において横須賀市長、横須賀市
議会、横須賀防衛協会、横須賀
商工会議所及び横須賀地方総監
部共催の遠洋練習航海部隊壮行
会が行われました。

壮行会は、主催者代表の吉田
横須賀市長の練習艦隊・実習幹
部に対する激励から始まり、司
令官及び実習幹部代表に対する
花束贈呈と続いた後、小山満之
介横須賀防衛協会会長の発声に
より高らかに乾杯が行われまし
た。実習幹部は多くの海自OB
や支援者との歓談を通じて自分
たちに対する期待の大きさを感
じ、それに応えようとする意気
込みが感じられました。

壮行会は万歳三唱をもって終了となり、参会者一同は実習幹部の前途を祝して万雷の拍手をもって見送りました。



壮行会終了後、場所を移して練習艦隊司令官、各艦長、先任伍長等を招待して横須賀水交會主催の歓迎夕食会が行われました。道満横総監も参加された夕食会は、中尾会長、道満総監の挨拶、松崎顧問の乾杯の音頭で始まり、終始和やかな雰囲気の中で近海練習航海の労をねぎらいました。最後に道家副会長の中締めでお開きとなりました。
(本多 一雄 副会長 記)

2 馬門山海軍墓地墓前祭



第62回横須賀馬門山海軍墓地墓前祭が、平成29年5月14日(日)午前9時30分から約1時間(横須賀市根岸町1丁目5番地)において厳粛に執り行われました。
墓前祭は例年5月の第2土曜日に開催されているところ、今回は練習艦隊の入港歓迎関連諸行事と重なったため、1日繰り下げて行われたものです。
墓前祭の主催者は、横須賀水交會、隊友会横須賀支部、大津観光協会、大津地区社会福祉協議会、大津地区連合町内会の計5団体の共催であり、当会有志会員も受付、会場案内、準備・

撤収作業など式典運営の中核を担っています。

なお、前日の豪雨の名残はあったものの準備に万端を尽くした結果、行事の進行に全く支障はありませんでした。

参列者は、ご遺族並びにその関係者を始め、来賓として吉田雄人横須賀市長、小泉進次郎衆議院議員、三浦信祐参議院議員、牧島功及び亀井貴嗣両神奈川県議会議員、木下憲司横須賀市議会議員、青木秀介及び西郷宗範両横須賀市議会議員等、海上自衛隊からは道満誠一横須賀地方総監、井上司自衛艦隊司令部幕僚長、佐藤賢上潜水艦隊司令部幕僚長、下淳市第2術科学校長、池田秀人横須賀教育隊司令、染田良弘横須賀警備隊司令、桑原正明横須賀基地業務隊司令等、さらに主催5団体それぞれの長・会員並びに一般参列者等計約370名(内当会からは35名)であり、祖国のために散華された英霊を追悼するとともに、わが国及び世界の恒久平和に祈りを捧げました。



墓前祭は、「国歌斉唱」に続き隊友会横須賀支部長及び横須賀市長の「追悼のことば」、「黙とう」、海自儀仗隊による「拝礼」及び「弔銃発射」、「献花」の順に円滑に行われました。

主催者を代表して隊友会横須賀支部長佐々木俊也氏は、追悼のことばの中で、墓地に眠る御霊に追悼の意を捧げるとともに再びわが国を戦火に晒すことのないよう全力を尽くすこと、及び平成25年の墓石等の修復工事に引き続き墓地の環境整備にも努力することを墓前に誓いまし

た。また、来賓代表の横須賀市長は、今の隆盛が国民の命綱として散華された御霊のおかげであること、また戦艦「陸奥」の砲身の里帰りや第四艦隊殉難について新たな事実が判明したことなどと共に墓前祭が行われることは、横須賀が過去から未来へ歴史をつなぐ地であると述べました。

馬門山海軍墓地は、明治15年(1882年)に海軍省が戦死、若しくは殉職した海軍軍人の埋葬地として開設したものであり、以後、横須賀鎮守府が終戦まで管理運営を担当していました。昭和24年(1949年)、横須賀市が横須賀地方復員局から維持管理を引き継ぎ、以後、一般墓地を造成しつつ、現在に至っています。

当墓地には軍艦「河内」、「筑波」等の殉職者、上海事変戦死者等、海軍軍人の英霊1592柱が殉職者之碑・個人墓等に祀られているが、個人墓の古いものは設置されてから約130年が経過し損傷が激しく、一部に

は倒壊しているものもあつたことから、先に述べたとおり公益財団法人水交會(横須賀水交會が実務を担当)は、平成25年に半年間をかけて工事(対象墓石約235基を可能な限り元の状態に修復)を行いました。

このように墓地を適切に維持整備していくことは、馬門山海軍墓地の一層の周知を図り、平和と独立、安全の尊さを訪れた市民に訴えるものであることをよく認識する必要があるでしょう。

今回も海自横須賀音楽隊の支援が得られました。音楽隊は、「君が代」、「国の鎮め」など式典最中の演奏のみならず、開式までの間に「巡検ラッパ」などを演奏し、墓地に眠る御霊を鎮めるとともに、会場を荘厳かつ和やかな雰囲気包んでくれました。

さらに湘南学院高等学校学生による受付や献花の支援活動もすっきり定着し、墓前祭には欠くことができなくなっています。若者達のこうした地道な活動が、

御霊の遺志、参加者の思いを将来に継いでくれるに違いありません。

なお、読売新聞、神奈川新聞及びジェイコム湘南がこれら墓前祭を取材しました。

最後に、前日の豪雨の中の準備や撤収を全面的に支援して頂いた横須賀教育隊隊員の皆さん、整然と切れのある動作で高い練度を示して頂いた横須賀警備隊儀仗隊の皆さんなど海自横須賀地方隊関係各位の絶大な支援に對して、主催各団体の深甚なる感謝の意が表されたことを付記します。(濱田暢喜 幹事 記)



3 平成29年度遠洋練習航海

派遣部隊出国行事

平成29年度遠洋練習航海派遣部隊の指揮官は、練習艦隊司令官 海将補 眞鍋浩司、派遣艦艇は、練習艦「かしま」(艦長 1等海佐 堀川雄司)、護衛艦「はるさめ」(艦長 2等海佐 樋ノ口和隆)の2隻であり、派遣人員は、第67期一般幹部候補生課程修了者約190名(うちタイ王国海軍少尉1名)を含む約580名です。期間は、平成29年5月22日(月)から11月1日(水)(164日間)であり、訪問予定国は、8か国、13寄港地(＊)、総航程、約5万7千キロメートル(約3万マイル)です。

5月22日(月)、入港時と異なり天気は晴れ、5月の爽やかな風が吹く中、横須賀港逸見岸壁には早朝から多くの見送りの人が集まってきました。横須賀水交會からも中尾会長をはじめ約30名の会員が参加しました。

10時から行なわれた逸見岸壁での出国行事は、白い制服の実習幹部が凛々しく整列する中、



小林鷹之防衛大臣政務官の訓示から始まり、小田原潔外務大臣政務官の祝辞、海上幕僚長の壮行の辞へと続きました。

海上幕僚長は壮行の辞の中で、世界の海を見て世界の海軍と交流した諸君は、一回り大きくなつて11月1日に帰国することを海上自衛隊総員が、一日千秋の思いで待ち望んでいると述べられました。

その後、訪問国の駐日大使や武官等の来賓紹介、祝電披露、花束贈呈と続き、最後に眞鍋司令官から、「準備良し。ただいまから、平成29年度遠洋練習航海に出発します。任務完遂に全力を尽くします。行つて参ります。」と力強い決意が述べられました。

実習幹部は、横須賀音楽隊が奏でる軍艦マーチに合わせて大きく手を振りながら行進し、颯爽とそれぞれの艦に乗り組み、最初の寄港地パールハーバーに向け出港して行きました。

(石井 順 幹事 記)

(*) ..アメリカ合衆国(パールハーバー)、サンディエゴ、ニューポート、フォートローダール、アンカレッジ)メキシコ合衆国(チアパス、マンサニージョ)キューバ共和国(ハバナ)、チリ共和国(バルパライソ)、エクアドル共和国(グアヤキル)、カナダ(バンクーバー)、ロシア連邦(ウラジオストク)、大韓民国(ピョンテク)



4 平成29年度「海軍の碑」

記念行事

横須賀水交会は、平成29年5月27日(土)に横須賀市ヴェルニー公園(JR横須賀駅前)内の「海軍の碑」前において、記念行事を行いました。

「海軍の碑」は、近代海軍創設とともに発展した軍港都市横須賀の歴史の象徴として平成7年11月17日、全国の海軍関係者及び有志の浄財により建立されたものです。

本行事は、「海軍の碑」が建立された後、海軍記念日(明治38年(1905年)5月27日の日本海海戦を記念して制定されましたが、昭和20年(1945年)廃止)だったこの日に、横須賀海友会が主催して毎年行われてきましたが、平成14年以降は海友会と合同した当会が実施を担当しています。



当日は天気にも恵まれ、爽やかな風が吹く中での実施となりました。次第は、参加者は約30名でした。次第は、国旗及び軍艦旗の掲揚、海軍英霊に対する黙とう、「海軍の碑」建立趣旨の朗読、中尾横須賀水交會会長の挨拶、鎮魂の譜鑑賞と進んだ後、かつて帝国海軍軍人として横須賀に勤務されていた

た相澤氏から、当時の興味深い軍港横須賀の様子について紹介を受けました。最後に、両旗を降下し、行事を締めくくりました。



中尾会長は、挨拶の中で、暑中参列した有志各位及び記念行事開催担当幹事等への感謝の意を示すとともに、海軍の偉業を偲びつつ、祖国のため散華された多くの御霊に対する追悼の念と平和の祈りを捧げるため、毎年「海軍の碑」記念行事を挙行しなければならぬ。そして、挙行の度に、その意義について振り返って考える必要があると述べられました。

(石井 順 幹事 記)

5 掃海艦「はちじょう」

自衛艦旗返納式

梅雨入り間近の6月6日、横須賀港船越岸壁において、平成6年3月就役以来、掃海隊群(11年度までは第2掃海隊群)の中核として活躍してきた掃海艦「はちじょう」(やえやま型掃海艦3番艦 艦長 田中孝嗣2等海佐)の自衛艦旗返納式が、道満誠一横須賀地方総監により執行されました。

山下自衛艦隊司令官をはじめとする横須賀所在部隊の指揮官、掃海関係部隊幹部海曹士、沼田横須賀副市長、木下横須賀市議会議長、横須賀水交會(道家副会長以下会員約20名)など防衛関係諸団体の長、同会員、さらには歴代「はちじょう」艦長及び建造会社社員、同OBなど多くの関係者が見守る中、「はちじょう」艦尾に掲揚されていた自衛艦旗が厳粛に降下されました。自衛艦旗降下の後、後部甲板に整列していた乗組員が退艦し岸壁に整列、田中艦長から道満総監へ「退艦終わり。異状なし」

と報告され、その後、副長から艦長へと手渡された自衛艦旗は、艦長から総監へ粛々と返納されました。



道満総監は、訓示の中で、23年間の長きにわたり、機雷戦部隊の主力艦として各種任務に従事し、海上自衛隊の任務行動に大きく貢献、この間における総航程2,288,190浬、総航海時数39,783時間、2か月に及ぶ東日本大震災派遣を含む災害派遣2回、生存者捜索救助2回、航空救難5回、海外派遣3回、実機雷処分3回などの業績とこれを完遂した歴代艦長以下乗組員の輝かしい功績を称えるとともに、最後の乗組員と

して有終の美を飾ることに對しその労を労われ、さらに精進努力することを期待されました。総監訓示の後、艦長は乗組員に對し「「はちじょう」の指揮を解く」と令するとともに、労いの言葉をかけました。続いて、艦長以下乗組員総員が「はちじょう」に正対し、「掃海艦「はちじょう」、ありがとうございました。」と長年の感謝と別れの挨拶がありました。乗組員と艦の強い絆が伝わってくる、この清しい言動を間近にした参列者から期せずして大きな拍手が沸き起こりました。





世界最大級の木造艦船である「やえやま」型最後の掃海艦が退役となった歴史的な式典に立ち会った参列者の多くは、「はちじょう」最後の雄姿に別れを惜しました。

歴代艦長及び乗組員のこれまでのご苦労ご尽力と23年間に及ぶ任務完遂に深甚なる感謝と敬意を表します。

(二瀬 良文 幹事 記)

6 第34回横須賀水交會主催

ゴルフコンペ

6月9日(金)、第34回横須賀水交會主催ゴルフコンペを千葉房総半島の鹿野山ゴルフ倶楽部にて開催しました。

当日は、梅雨入り直後にもかかわらず天候にめぐまれ、前回の荒天による中止のリベンジを果たすことができました。

また、当日は、当コンペ専用のごとく前後を気にすることなくスムーズにプレーをすることができました。

ただし、このため組ごにプレー時間の差が大きくなり、表彰式まで少し時間がかかってしまいました。参加者は中尾会長以下49名でした。

今回の成績は、坂東勝昭氏が、グロス91、ハンディキャップ20.4、ネット70.6で優勝



2位には鈴木友久氏(90.19.2、70.8)



そして3位は平野朝八氏(92.20.4、71.6)がそれぞれ受賞という成績でした。

ベストグロス賞には、レギュラーの部では大津雅紀氏がグロス81で、ベストグロス賞ウーマンには、野山明子氏がグロス104で、シニアの部では近藤義美氏がグロス83で受賞されました。

また、飛び賞の発表では、新ペリア方式の意外性から各受賞者の発表ごとに歓声が上がりに盛り上がりました。

水交會主催コンペは会員の親睦を目的としたゴルフ大会ですが、水交會会員のみなならず、陸海空自衛隊のOBや友人・知人・家族まで幅を広げて参加者

を募り、水交會の活動に理解を深めていただければ幸いです。またこの中から水交會に入会していただければこのコンペの目的を十分に果たすことができると考えています。たくさんの方に声をかけて参加者を更に増やしていただくよう今後ともご協力の程よろしくお願ひします。

(吉岡 俊一 幹事 記)



7 横須賀水交會平成29年度

定期総会、講演会及び懇親会開催

6月16日(金)、横須賀水交會の平成29年度定期総会、講演会及び懇親会が、「よこすか平安閣」において盛大に開催されました。

総会の参加者は94名であり、物故者に黙祷をささげた後、中尾会長を議長として、3つの議案について審議が行われ、いずれも賛成多数で了承されました。その概要は次のとおりでした。

①「28年度の活動報告、収支決算、監査報告」については、会員数は28年度末と比較して、24名増の882名であること。

また、各事業とも計画どおり実施した他、新規として有志会員に対する部隊研修を行ったこと。

②「新役員の選任」については、12名の新任、変更等があり、29年度の役員は、顧問6名、幹事78名、監査幹事2名で構成すること。

③「29年度事業計画及び予算」については、本部業務計画に基づく6つの活動方針ごとに事業計画を策定するとともに、今年

度も有志会員を対象とした部隊研修を行うこと。例年どおりの事業規模と予算を計上したこと。なお、「一般討議・提案」においては提案のあった以下2件について、今後、常務幹事会で検討することとされました。①「有志会員に対する入会動機等のアンケート調査」について。②「横須賀市に対する自衛隊の行事への更なる関与の要望」について。横須賀水交會からは、留学生のホームステイ及びファミリーサポートへの参加の協力を要望しました。



最後に本会会員で平成28年度秋及び平成29年度春に叙勲受章された方々の紹介があり、当日参加された方々に対し参加者全員が拍手をもって祝福しました。休憩の後、「海上自衛隊の現状」と題して、横須賀地方総監道満誠一海将による講演が行われました。参加者は、約150名でした。



内容は、「最近の周辺国情勢」(ロシア、北朝鮮、中国、東南アジアの情勢)、「海上自衛隊の活動の現状」(①我が国の領域及び周辺海域の防衛、②海上交通の安全の確保、③より望ましい安全保障環境の構築)、「トピックス」(30新艦艇、海上作戦センター及び潜水艦機橋等の整備状況、最近の募集状況と女性隊員の拡充について、多層的日米交流の状況)の3項目でした。画像、数値、グラフを活用して、分かりやすく説明して頂きました。会員一同、この講演を通じて、改めて我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増している現状と、それに伴って海上自衛隊の実任務が増大している状況を理解するとともに、厳しい勤務環境に置かれている隊員に対して感謝の意を強くした時間でした。

講演終了後、会場を移し、吉田雄人横須賀市長、県議・市議、防衛関係諸団体代表及び自衛艦隊司令部幕僚長等防衛省・自衛

隊の部隊指揮官・前任伍長など、多数の来賓の臨席を得て、懇親会が行われました。中尾会長からの挨拶に続いて、来賓を代表して吉田市長及び自衛艦隊司令官代理井上司幕僚長から祝辞を頂きました。皆様の祝辞からは横須賀水交會對する深いご理解が感じられ、会員一同深い感銘を受けました。引き続き来賓紹介、祝電披露へと進み、道満横総監の音頭で高らかに乾杯し、懇談に入りました。公務で、会場が遅くなった小泉進次郎衆議院議員及び宇都隆史参議院議員両名からも到着後、祝辞を頂きました。

約150名の参加者は懇親会会場のあちこちで再会と交流の輪を広げ、横須賀地方総監の講演内容等を話題にした防衛談義の花が咲きました。香月横地隊前任伍長の中締め乾杯をもつて、名残惜しくも散会となりました。(石井 順 幹事 記)

8 横須賀教育隊修業式に

おいて、横須賀水交會から
 激励賞を授与



横須賀水交會では、8月23日(水)横須賀教育隊第367期練習員課程及び第59期練習員(女性)課程の修業式、8月24日(木)第10期一般海曹候補生課

程の修業式において、成績優秀者4名(男性2名、女性2名)に対し、表彰状及び記念品を中尾会長から贈呈しました。

本表彰は、平成25年度は、横須賀水交會独自の事業として実施されましたが、平成26年度からは、水交會全体の事業として全教育隊で実施されているものです。

8月23日の修業式においては、第367期練習員課程254名及び第59期練習員(女性)課程110名、24日の修業式においては、第10期一般海曹候補生課程438名(男性:401名、女性:37名)から選考された学生に対し贈呈されました。

本年度は、各教育隊での修業式が練習員課程及び海曹候補生課程同時に24日実施で計画されたようですが、横須賀教育隊では修業生数約900名、ご家族等約1500名を収容しての式典が困難なことから23日、24日の2回に分け実施されました。2回に分けて実施しても海上自衛隊保有の体育館では、参加

者を収容できないため陸上自衛隊武山駐屯地体育館を借用しての式典となりました。両日とも長雨から一転、晴天の下の式典となり、体育館内の気温は35度を超える猛暑にもかかわらず修業生は1名も倒れることなく式典が実施されたことは見事でした。

激励賞授与は、部内外の来賓や全国各地から来られたご家族等(23日約700名、24日約800名)参列の元、中尾会長からの贈呈が整齊と実施され、横須賀水交會の知名度向上に大きく貢献したものと思います。今回、次の方々表彰されました。

第367期練習員課程

2等海士 鈴木 晃輝

(すずき こうき)

(特技:地上救難、

配属先:館山航空隊)

第59期練習員(女性)課程

2等海士 中島 万里花

(なかしま まりか)

(特技:運用、

配属先:海洋観測艦「わかさ」)

第10期一般海曹候補生課程

2等海士 田邊 隼也

(たなべ しゅんや)

(特技:情報)

配属先:大湊情報保全隊

2等海士 佐伯 薫子

(さへき かおるこ)

(特技:通信)

配属先:護衛艦「かが」



また、今年度は、初任海曹課程(12月末・3月中旬修業予定)及び練習員課程(2月修業予定)の計3名に対する表彰も予定されています。

今回、表彰された皆様が、部隊において更なる研鑽を積み、海の防人として大きく成長されることを横須賀水交會一同祈念しております。

(清水利広 幹事 記)

9 平成29年度横須賀水交會

夏期防衛講座

9月2日(土)横須賀地区防衛諸団体共催の横須賀夏期防衛講座が記念艦「三笠」において開催されました。本講座は横須賀水交會と隊友会横須賀支部が隔年で主幹事を担当しているもので、本年度は横須賀水交會が主幹事を務めました。

当日、「三笠」の講堂には、現役自衛官を含む来賓及び各団体会員約230名の聴講者が集まりました。

横須賀夏期防衛講座は「講演」及び「納涼懇親会」の2部構成となっております。

まず、第一部「講演」は、小山満之助横須賀防衛協会会長の挨拶に始まり、講師の笹川平和財団特任研究員、渡部恒雄氏が大きな拍手に迎えられて登壇されました。

講演に先立つ講師紹介では中尾横須賀水交會会長から、講師は米国有数のシンクタンク「戦略国際問題研究所」に在籍された後、現在は笹川平和財団の特

任研究員として、日米関係、日本外交、安全保障問題など幅広い分野で積極的に発信を続けておられる方である旨が紹介されました。

「トランプ政権における安全保障戦略(主としてアジア・太平洋地域)」という演目での講演は、冒頭でいきなり「政権全体として(の安全保障戦略)はない。

もちろん軍として、そして米国としてはあるが、そういう伝統的なものを壊すのがトランプ政権です。」という言葉で始まりました。

この言葉で聴衆は、瞬時に講師の世界に引き込まれ、約1時間の講話は非常に短く感じられるものとなりました。



講話の内容は、前半は主としてトランプ政権発足後の人事の変遷を述べながら、過去の政権との比較も交えトランプ政権の特徴について分かり易く解説されるというものでした。

従来の政権であれば、大統領選挙におけるアドヴァイザーがそのまま主要閣僚として大統領を支える、あるいは長期的観点から前政権の主要ポストにいた人をそのまま使うという分かり易い構図なので政策が読めましたが、トランプ大統領はそのようなアドヴァイザーを用いていなかったこと。さらには政権発足後半年以上経ちますが、次官補(局長)級以上の政治任用者の

任命が滞っており、北朝鮮問題のような大きな懸案事項があるにもかかわらず、それを担当すべき東アジア担当国防次官補が決まっていないことなどから、政策面での予想がつかない、あるいは実務者レベルでの交渉が難しいという状態になっていることを挙げられました。

ただしトランプ政権はそのような状態になっているものの、まともな人たちに支えられている面もあり、特に日本の講演の本題である「安全保障」に関してはマティス国防長官及びケリーー首席補佐官の尽力により比較的安定しており、その他にも軍関係、政界に日米同盟を支えている人は多くおられるということでした。

今後はロシアゲート問題もあり、トランプ政権のレームダック化が進む恐れがあることが政治的な不安材料ですが、良い材料としては、軍関係は信頼できる人が任用されているので外交安全保障に関しては変な方向には行かないであろうとのこと

す。

また日本と米国は軍同士で連携して米国を良い方向へ持つべく段階に来ており、経済も含めた日米同盟が弱まらないような方向に持つていくことが重要であるので、その分日本が覚悟を以て頑張つてやつていく必要があると締めくくられました。

第2部の納涼懇親会は、場所を「神奈川県歯科大学学生食堂」に移して実施されました。上地克明横須賀市長、中西けんじ参議院議員、古屋範子衆議院議員及び三浦信祐参議院議員からご祝辞を頂いてから始まった懇親会では、そこかしこのテーブルで参会者同士の防衛談義に花が咲き、旧交を温めあう姿が散見され、まさに横須賀防衛諸団体の貴重な交流の場となりました。このように和気藹々ながら熱っぽく意見を交換する内に時間は瞬く間に過ぎて、第二部もあっという間に幕となり、平成29年度横須賀夏期防衛講座は所期の目的を十分に達成して終了しました。

(宮崎道夫 幹事 記)

【トピックス】

1 「浜空鎮魂の碑」慰霊祭

4月2日(日)浜空会(横浜海軍航空隊の会)は、横浜市金沢区富岡総合公園内の浜空神社跡地において、「浜空鎮魂の碑」慰霊祭を36名の参加者を得て斉行されました。横浜海軍航空隊は、昭和11年10月1日にこの地に開設され、その守護神として浜空神社が造営され、神社を中心とした広大な陸上の敷地と現在埋め立てられた根岸湾に水上の飛行艇発着場を占有していました。隊員約1,000名大型飛行艇24機を有する海軍最大の飛行艇専門航空隊としてその威容を誇っていました。

慰霊祭には、遺族会及び隊友会、横須賀水交會、湘南水交會等の海自OBも参列しました。昨年に引き続き現職隊員、統合幕僚監部最先任宮前准尉、自衛艦隊先任伍長小滝曹長、横須賀地方隊先任伍長香月曹長が休日を返上し先人の尊い命を偲ぶため慰霊祭に駆けつけて頂きました。

た。

慰霊祭は、軍艦旗掲揚に引き続き雷神社(追浜)秋山宮司による「修祓の儀、献饌の儀、玉串奉奠、撤饌の儀」が行われた後、軍艦旗降納を行い無事に終了しました。



終了後の直会(なおりい)神事の最後に参加者一同で神酒を戴き神饌を食する行事)は、公園内の桜の木の下の移動し浜空会加藤会長の挨拶を皮切りに、浜空隊員への思いや現職隊員の現状などを熱く語り合い御霊

に感謝を捧げました。

横浜海軍航空隊は、昭和16年12月8日大東亜戦争が勃発するや直ちに第一線に出動し、飛行艇の強大な航続力を發揮して洋上大遠距離の哨戒攻撃輸送救出作戦を展開し、ハワイ・インド・アリューシャン・豪州・ソロモンにわたる広大な戦域を駆け巡り勇戦奮闘しました。作戦上部隊名を801航空隊に変更し戦争終期には兵力集中のため宅間航空隊に全飛行艇を集結して沖縄攻防戦に死闘を演じ満身創痍全力を尽して戦いの幕を閉じた。中でも横浜海軍航空隊はソロモン最前線のツラギに進撃作戦中強力な敵の反撃を受け昭和17年8月宮崎司令以下338名が壮烈な玉砕を遂げたのです。

多くの戦史文献を眼のあたりによればするほど、当時の壮絶な戦いが蘇り海上自衛隊OBとしては胸が熱くなり、大先輩の英霊に対し敬意を表し今後も慰霊顕彰の火が絶えないよう快く行事に参加したいと強く心に刻んだ次第です。

現在浜空会事務局として事務

を一手に担っておられる加藤郁夫氏によると、元浜空隊員はすでに90歳を超え、今年の慰霊祭には1人の参加も叶わずとも残念だと語っていました。浜空会会長加藤亀雄氏(93歳)からは、会員の方々の高齢化が進み今後の浜空会の存続や慰霊祭の開催を大変危惧されておられました。この話を聞き昨年来、多くの関係諸団体にこの問題の実情を理解していただくため会長の思いを伝えてきた結果、徐々に話は広まり慰霊祭参加者も増えつつあります。

この横浜海軍航空隊に思いを馳せて祖国を旅立ち、日本のために尊い命を捧げられた多くの御霊に永久に慰霊を捧げられるよう、皆様の協力をお願いいたします。
(高橋 進 幹事 記)



2 靖国神社等月例参拝

6月15日(木)恒例の靖国神社等月例参拝を実施しました。梅雨の時期でありながら、天気は快晴で湿度も低く、境内の木々の緑も力強く感じました。その木陰に入ると涼しいくらいの爽やかな一日でした。

水交会の月例参拝は、旧海軍及び海自OBを主体に行われていますが、今回、旧海軍出身者は、兵学校73期の香川宏三氏以下、甲飛會計8名、海自OBは、幹候6期の伊藤隆行氏以下クラス代表29名、その他有志3名、遺族会2名、電子会1名及び水交会本部8名の合計49名でした。更に、横須賀水交会からの参加者8名を加え、57名の大人数の参拝となりました。

今回で、水交会月例参拝としては、413回目になるそうです。

横須賀水交会については、2年前の7月は32名と多人数でしたが、昨年は2月10名、6月14名、今年の2月はクラス代表も兼ねて21名、そして今回は9名

と、減少しています。今後も積極的な参加を是非呼びかけていきたいと思えます。次回は、2月です。月例参拝の参加及び初回参加者のお誘い、皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

徳川泰久宮司からは、「梅雨の中休みと言いますか、梅雨入り以降休んでばかりで、夏の水不足が心配です。明治37年6月15日、ロシア艦隊に沈められた日本郵船の日立丸の慰霊祭があり、陸軍海軍も乗船されていたということから、水交会からの参列もありました。」というお話がありました。その後、兵学校73期香川氏を総代として、参拝が行われました。



参拝終了後、それぞれ徒歩で千鳥ヶ淵戦没者墓苑まで移動しました。

千鳥ヶ淵では(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会から、主に次の説明がありました。

①墓苑の四季彩

・大賀ハス(古代ハス)が開花。2千年前の種子から育ったもので、毎年決まった時期に開花。まるで時間厳守の海上自衛官のようだ。

・墓苑内には「紫陽花の小道」と名付けた道があり、今、紫陽花がきれいに咲いている。

②平成29年度の拝礼式

・日時 平成29年5月29日(月)

1230〳

・拝礼式

遺骨収集事業で新たに収集した御遺骨で遺族に引き渡すこととの出来ないものを納骨、併せて墓苑に納められている御遺骨に拝礼

・参加者

常陸宮同妃両殿下、総理大臣遺族代表、駐日大使、関係各

大臣、各政党代表、各種団体代表

・式次第

国歌斉唱、式辞、皇族殿下御拝礼、遺族献花等

・本年度納骨数

2,453柱(平成28年度:2,337柱)

・墓苑内合計

367,328柱(29.5.29現在)

③遺骨引渡式

今後も遺骨引渡式が予定されている。遺骨収容派遣団には、大学生等の若い人も参加している。



大賀ハス



バスの送迎の支援を得て、防衛省慰霊碑に向かいました。

到着後、海幕総務課長、わだつみの会会長の挨拶を受け、幹候6期の小滝國雄氏が代表して献花し、慰霊参拝を行いました。

その後、直会参加者8名は各個に会場へ移動し、直会が行われました。今回の会場は、四ツ谷の主婦会館でした。今回初めて利用しましたが、落ち着きのある会場で料理の味も秀逸でした。開会の辞は、中尾会長に挨拶を頂き、献杯を一同で上げました。暫くは、お酒と料理を楽しんだ後、急遽、参加して頂いた吉沢 威様から平成28年6月から9月にかけて、プレジャーボートによる日本一周巡行の苦労話等を聞かせて頂きました。

苦労話の中で、終盤の石巻港手前で吉沢様のボートのエンジンが冷却水取入口に浮遊物が詰まることで焼付き、無念ながらそこで断念したことや、総経費の話など話が盛り上がりお開きとなりました。

(大野 慶二 幹事 記)



3 ファミリーサポート会員、家族交流会に参加

7月29日(土)、横須賀地方総

監部(以下、「総監部」とする。)が主催する第3回ファミリーサポート会員家族交流会が、総監部庁舎において開催されました。今年度は、当交流会の目的である会員同士の顔合わせと事前打ち合わせを主に、行われました。当日は夏真つ盛り、酷暑でありましたが、庁舎内で行われたので、体調を崩す者もなく滞りなく進行了ました。

「横須賀水交会ファミリーサ

「ポートセンター」は、2015年6月に開設され、翌7月に第1回、2016年6月第2回交流会が開催され2年が経過しました。本支援施策に対する理解者も増えつつあり、横須賀水交會ファミリーサポート会員（以下、「当会員」という。）は初年度に26名集まり、その後募集活動を継続し現在31名となりました。今回の参加者は、支援を希望する依頼会員家族と当会員、本活動に興味を示して頂いた水交會会員及び交流会担当役員等総勢52名と予想を上回る参加者でした。

総監部大会議室において、10時から総監部管理部長の挨拶を皮切りに、総監部厚生課担当者から「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」の説明が実施されました。その後、10時半からは、家族打ち合わせが行われ、マッチングされた依頼会員（隊員）、提供会員（当会員等）が各組に分かれ、顔合わせ及び打ち合わせが行われました。お互い初めて会うこともあり、緊

張の面持ちで始まりましたが、時間の経過とともに和やかなムードで話し合うことが出来ました。食物アレルギーや健康状態などを確認し互いの家庭環境を少しずつ知ることが出来ました。この顔合わせにより問題点も見えて来たことから、今後は依頼・提供両会員から意見を聞き、それぞれの生活環境や勤務体系に沿った支援活動が出来るよう柔軟な「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」を目指したいと考えます。

11時からは、お楽しみゲーム大会が総員参加で開催され、依頼会員家族を9名編成で5チームが結成され、ゲームの開始となりました。ゲームは総監部厚生課が、思考を凝らした3つであり、連続して行われました。子供達は大はしゃぎで、それに負けないくらい横須賀水交會会員も大はしゃぎでした。負け嫌いの元海上自衛官は健在でした。

交流会終了後、昼食懇親会を総監部担当者と横須賀水交會

員28名で実施しました。この機会を利用し融和団結を図り、さらなる支援の向上を目指す決起集会と位置付け開催したものです。フランス料理風ランチフルコースをいただきながら、2時間意見交換を行い、水交會会員及び総監部担当者の意見を聞く良い機会となりました。今後の会の運営に大変有意義な時間であったと思います。



今次交流会を通じ隊員家族と本音を話せたことは、「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」にとって更なる礎となり、更にこの支援施策が一步前進で

きたと考えます。現在横須賀地区には子供を持つ家族が100組以上いると聞いていますが、ファミリーサポート会員として登録しているのは、6組のみであり、本当に大丈夫なのか疑問に思うところです。現状24時間子供を預かる市の施設は無く緊急呼集が下令された場合は、自衛隊施設に連れて出勤あるいは近隣の知人宅や親戚等に預けることとなります。われわれ横須賀水交會はそんな状況を想定し隊員家族の負担を少しでも軽減できる支援を目指し「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」の設立に踏み切りました。

最後に、「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」は、総監部の意向に沿って今後もできる範囲で支援を継続し、ファミリーサポート会員の募集を強化するとともに本施策の更なる充実を図るため、年間を通じ規則の見直し・対応策の構築に努めいざという時に本領発揮できるように不断の努力を重ねて行く所存です。横須賀水交會会員皆様

方には本施策の趣旨をご理解頂き、より多くの方がファミリーサポート会員として登録頂けますようお願い申し上げます。

(高橋 進 幹事 記)

連絡先

井上力幹事：080-11049-8623

高橋進幹事：080-5083-2933

【お知らせ】

幹事会終了後の懇親会に

参加してみませんか！

横須賀水交會では9月、12月及び3月に幹事会を開催しており、終了後には自衛官等をお招きして懇親会(夕食会形式)を実施しております。平成28年度からはこの懇親会に役員以外の会員の皆様にもご参加いただきたいと考えております。これまでに会員同士の交流機会が総会や賀詞交歓会などに限られていたことを解消するための試みです。ので、ふるってご参加ください。

開催日や懇親会会場、費用等につきましては、開催日の概ね1か月前に横須賀水交會ホーム

ページ(当面の活動予定欄)に掲載いたしますので、参加を希望される会員はお手数ですがお葉書にて事務局までお申し込みください。

なお会場準備の都合もありますので、申し込み及び変更につきましては開催日の10日前までに完了して頂くようお願いいたします。

葉書宛先・・・〒237-0046

横須賀市西逸見町1丁目無番地

横須賀地方総監部付

横須賀水交會事務局宛

記載事項・・・参加される方の氏名

会員番号、連絡先

【新書紹介】

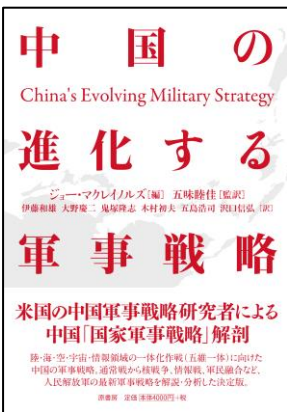
横須賀水交會会員が関係する新書を紹介します。

1 中国の進化する軍事戦略

(ジョー・マクレイノルズ編/五味睦佳監訳) 原書房

本書は、米国において過去20年間の中国の軍近代化に対して言語理解のギャップから中国の

戦略思想を適時に把握できていないという共通認識に基づき、中国人民解放軍から発行された最新の『戦略学』を分析して中国の軍事戦略を解説しています。編者は米国の中国軍事戦略のエキスパートで、監訳者は、元自衛艦隊司令官 五味睦佳氏であり、自衛隊OB等が翻訳しています。中国の軍事戦略の進化を学びたい人には最適の図書です。内容は、中国の進化する軍事戦略であり、通常戦から核戦争、情報戦(電磁戦・サイバー戦)、軍民融合、宇宙戦など人民解放軍の最新軍事戦略を解説・分析したもので、是非一読をお勧めしたい一冊です。



(2017年5月25日発売)

A5版 400ページ、

4,000円+税

(石井 順 幹事 記)

2 菅野泰紀 鉛筆艦船画集 肖像―序―海征く艦艦たちの残影 (菅野泰紀 著)

Art Studio 楓 -fu- 発行

著者、菅野泰紀(すがのひろゆき・横須賀水交會会員)は慰霊・顕彰のため艦内神社の分霊元などへ自身の鉛筆艦船画を奉納・寄贈することを続けています。これまでの奉納作品を一堂に集めた展示が、靖國神社遊就館にて特別企画展として今夏3か月にわたり開催されました。この企画展を記念し、この画集を製作されました。

帝国海軍艦艇にも、艦と乗組員達の航海の安全と武運長久のため、「艦内神社」が祀られていました。しかし戦後、艦と共に沈んだ艦内神社の存在は、ほとんど顧みられてきませんでした。著者は、せめて「水底に鎮座する艦内神社と分霊元の絆を後世に伝えていく一助となれば」と、その艦の絵を分霊元に奉納する活動を地道に続け、奉納先は10社、その作品数は12を数えます。

作品はすべて鉛筆画ですが、その迫力や臨場感には目を見張るものがあります。色彩がないからこそ、鑑賞者がそれぞれの感覚で自由に絵の情景をイメージすることができるところからかもしません。制作において、作者は、細部まで緻密に描き込み、単なる絵を越えて、波のうねり、吹き抜ける風の音や潮の香り、そして艦に乗る将兵達の息遣いすら感じられるような作品を目指しているとのこと。

この画集の収録作品は、奉納作品の他、著者の代表作品を収録し、線画も合わせると約60点。特殊製本を採用し、見開きでも作品を違和感なく鑑賞できることにこだわっています。また、巻末には制作や奉納活動の意義、艦内神社の概説などを全編日本語・英語併記で収録した、大変濃い内容となっています。



TEL / FAX : 06-6731-2906
URL : <https://artstudio-fu.com/>



24 cm × 25 cm 140ページ
3,780円(本体+税) 売上は奉納活動の原資となるそうです。



(石井 順 幹事 記)

叙勲受章者(春の叙勲)
次の会員の方が叙勲を受けられました。
(敬称略)

- 瑞宝小綬章 竹島 信博
- (本多 一雄 事務局長 記)

訃報

4月本紙発行以降、次の会員が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)
塚崎 展生 平成29年8月4日
福田 豪二 平成29年9月18日
小田倉光伸 平成29年9月26日
(本多 一雄 事務局長 記)

新(編)入会員

(29年2月〜29年10月)

- 次の方々々が横須賀水交會に新たに入会(編入)されました。(敬称略)
- 道上 幸永(幹候35) 菅野 泰紀(有志)
 - 廣瀬 泰輔(幹候55) 花岡 亘(横教206) 平野 晃胤(幹候)
 - 塩川 恵梨香(有志) 阿部 善一郎(幹候26) 池田 輝幸(幹候37) 棚岡 充雄(幹候36) 清水 郁郎(有志) 佐々木 信吾(有志)
 - 荻原 洋聡(幹候36) 伊藤 晃邦(横練6) 高坂 正明(幹候36) 尾村 太郎(有志) 小川 博昭(有志)
 - 岩崎 精司郎(有志) 長山 隆久(有志)
 - 清水 孝行(横教2058)
 - 在原 政夫(幹候35) 杉浦 千広(有志)
 - 佐々木 敏子(有志) 中野 隆則(有志) 横尾 嘉明(有志)

- 日比谷 孟俊(有志) 安藤 真魚(有志)
- 望月 亜子(有志) 佐々木 千賀子(有志) 尾崎 幸志(有志)
- 天野 左紀子(有志) 奥山 正(横教218) 松田 光弘(佐教243)
- 上地 克明(有志) 菱川 和雄(有志) 掛野 義都(有志) 大久保 成彦(幹候35) 石川 真理子(有志)
- 菊池 豊(幹候21) 渡辺 美千綱(幹候60) 齊藤 恭博(有志) 西崎 照洋(有志) 新井 務(航学86)
- 石橋 督悦(幹候35) 角田 祐一(有志) 池田 秀人(幹候35) 平川 雅一(有志) 服部 好恵(有志)
- 山口 啓一郎(幹候37) 田中みずき(有志)

(桂 眞彦 幹事 記)

【編集後記】

紙面充実のため、御協力をよろしくお願いいたします。

(編集担当 石井)

